

水道水と飲用水

Q. 水道水を10点満点で採点すると？

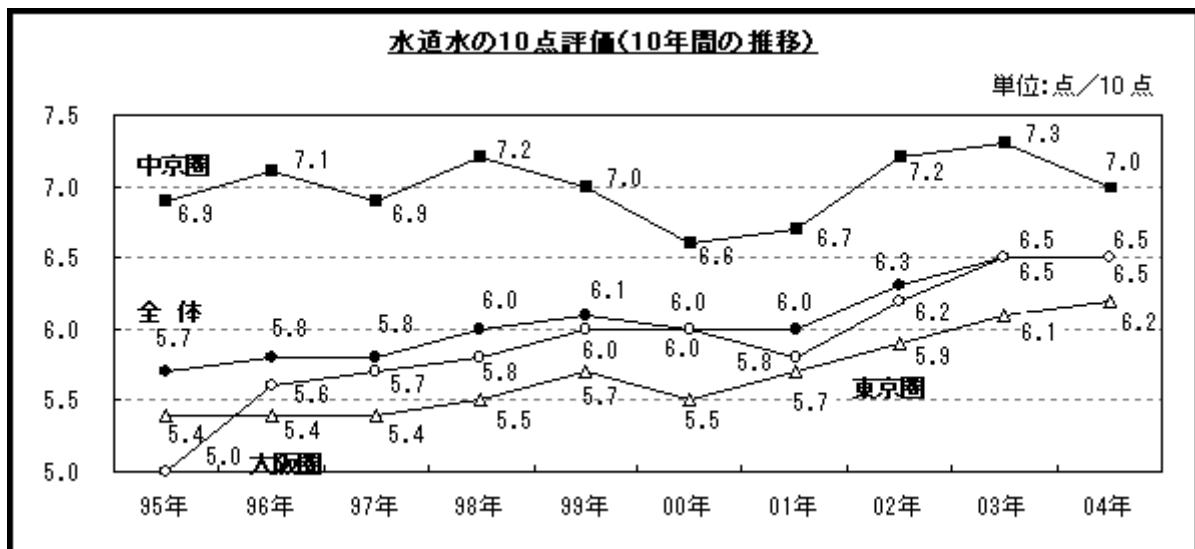
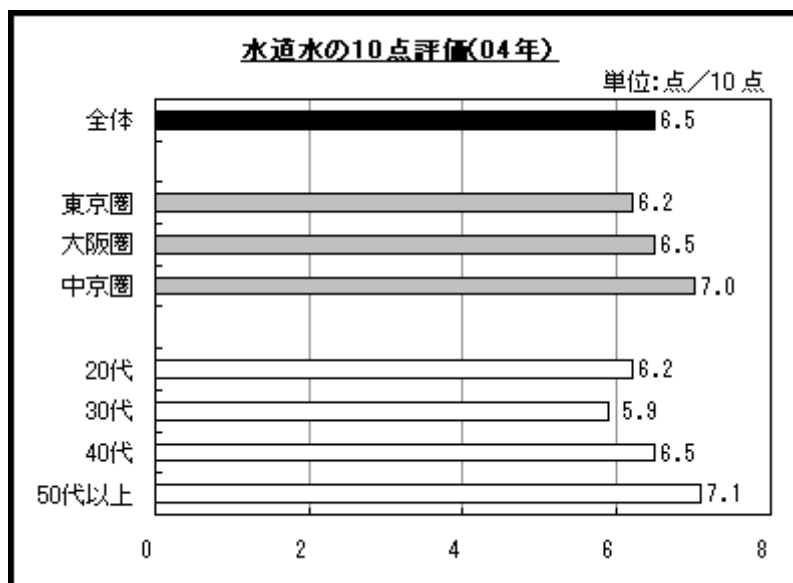
◇全体では6.5点、この10年間上昇傾向

◇中京圏（7.0点）、50代以上（7.1点）で平均よりも高い評価

全体では昨年と同じ6.5点でしたが、この10年間の推移を見ると、水道水の評価は徐々に良くなってきています。

居住地別では、例年と同様、中京圏（7.0点）の評価が相対的に高くなっています。ただし、東京圏・大阪圏はこの4～5年、上昇傾向が見られ、差はつまってきました。

年代別では50代以上の点数が高く、最低点の30代（5.9点）とは1.2点の開きがありました。



Q. 水道水について不満を感じていることは？（9 択+その他/複数回答）

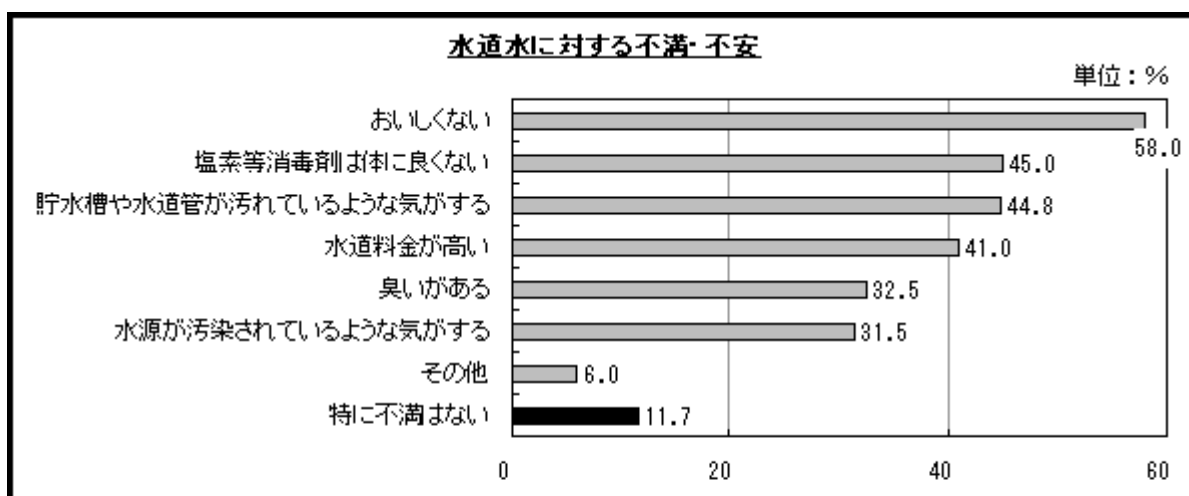
◇トップは『おいしくない』で6割近くに達する

◇『おいしくない』は東京圏 65.1%、大阪圏 65.9%で

中京圏（35.5%）と約30ポイントの大きな開き

水道水に対する不満のトップは『おいしくない』で6割近く（58.0%）に達しました。一方『特に不満はない』は、1割強（11.7%）にとどまりました。

居住地別では、相対的に中京圏の不満が少ないという傾向が見られ、『おいしくない』は東京圏 65.1%、大阪圏 65.9%に対して中京圏 35.5%と、約30ポイントもの大きな差がつかれました。また、『特に不満はない』は中京圏が2割以上（22.6%）なのに対して、東京圏（9.0%）、大阪圏（6.3%）ともに1割に届きませんでした。



「水道水に対する不満」居住地別比較

	全 体	東京圏	大阪圏	中京圏
おいしくない	58.0%	65.1%	65.9%	35.5%
特に不満はない	11.7%	9.0%	6.3%	22.6%

Q. あなたにとって一番おいしいと感じる水は？（7 択+その他）

◇トップ3は『湧き水』、『市販のミネラルウォーター』、『溪流の水』

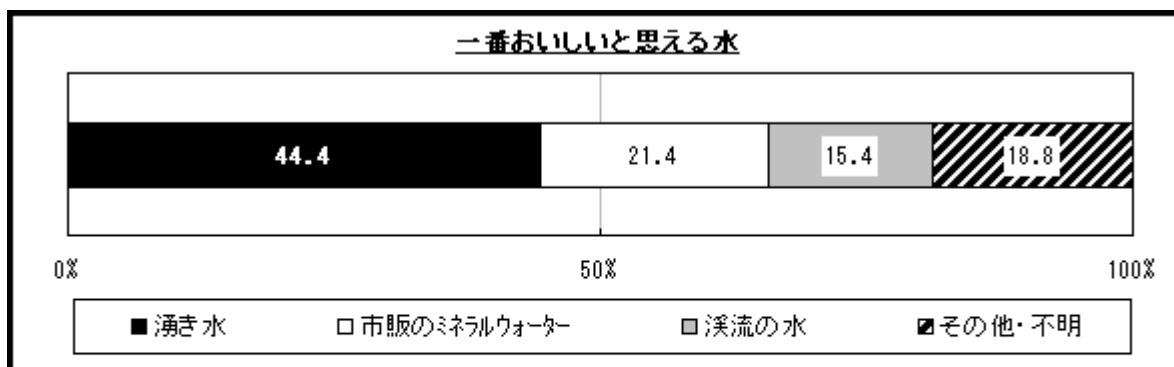
◇水道水は2.0%にとどまる

大都市圏居住者がおいしいとイメージしている水はどんな水でしょうか。

結果は、トップの『湧き水』（44.4%）以下、『市販のミネラルウォーター』（21.4%）、『溪流の水』（15.4%）の順位でした。

1位・3位の『湧き水』『溪流の水』は、大都市圏居住者が求めても簡単には手に入れることのできない“あこがれの水”といえるでしょう。一方、2位の『市販のミネラルウォーター』は“あこがれの水”の商品化といえなくもありませんが、40代・50代以上に比べて20代・30代の支持率が高いという結果でした。

因みに『水道水』は2.0%にとどまりました。



『市販のミネラルウォーター』の回答率

全体	20代	30代	40代	50以上
21.4%	26.1%	27.9%	17.7%	15.2%

Q. 日常、あなたがよく飲む飲料は？ (13 択)

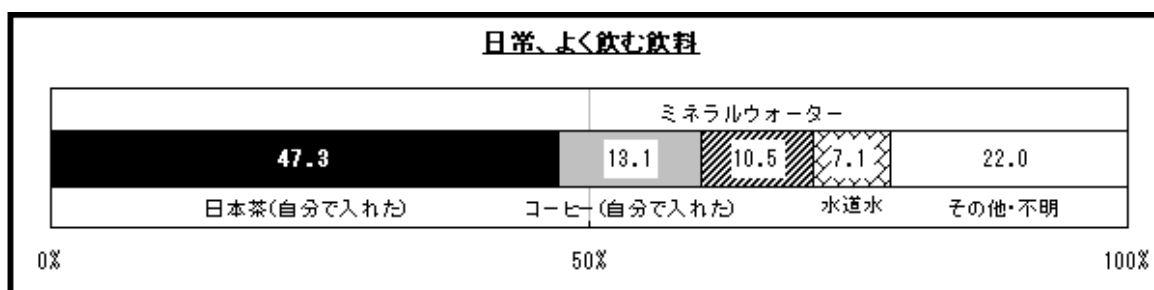
◇トップは『自分で入れた日本茶』、『水道水』は1割強で第3位

◇『水道水』をよく飲むのは、50代以上 (19.1%)、男性 (14.0%)、中京圏 (8.1%)

大都市圏居住者は、実際の日常生活において、どのような飲料を飲んでいるのでしょうか？

トップは『自分で入れた日本茶』で5割弱(47.3%)に達しました。以下、『自分で入れたコーヒー』(13.1%)、『ミネラルウォーター』(10.5%)と続きました。

『水道水』は第4位で1割に満たない7.1%でした。これを属性別に見ると、まず年代別では20代(0.0%)、30代(2.5%)はほとんど飲んでいません。また男女別では男性(9.6%)が女性(4.7%)を上回り、居住地別では大阪圏が5.6%と東京圏・中京圏に比べて相対的に低いという結果になりました。



日常生活で『水道水』をよく飲むのは？

全体	20代	30代	40代	50以上	男性	女性	東京圏	大阪圏	中京圏
7.1%	0.0%	2.5%	10.0%	14.5%	9.6%	4.7%	7.5%	5.6%	8.1%

Q. 水の供給県（都道府県）として思いつくのは？（自由回答）

◇トップは東京圏と中京圏が『長野』、大阪圏が『滋賀』

大都市圏の生活は、安全できれいな水を安定的に供給してくれる水源によって成り立っているといえます。思いつく水の供給県を聞きましたが、昨年までの調査と同様、概して居住地に近い県を挙げる傾向が見られました。

イメージする水の供給県トップ3

〔単位：％〕

	全体		東京圏		大阪圏		中京圏	
1	長野県	25.1	長野県	23.9	滋賀県	66.7	長野県	42.7
2	滋賀県	19.8	群馬県	18.0	長野県	10.3	岐阜県	15.3
3	群馬県	9.1	山梨県	11.4	北海道 山梨県 大阪府	2.4	静岡県 愛知県 滋賀県	6.5

Q. もっともおいしい水が飲めると思う都道府県と国は？（自由回答）

◇都道府県のトップは『長野県』、国は『日本』でいずれも10年連続

◇50代以上で高く、20代で低い日本の水への信頼

もっともおいしい水が飲めると思う「都道府県」は10年連続で『長野県』（30.9%）でした。居住地別に見ても、トップはいずれのエリアでも『長野県』でした。

一方「国」も、同じく10年連続で『日本』（45.7%）でした。年代別に見ても各年代とも『日本』が1位ですが、20代（35.7%）と50代以上（57.2%）で20ポイント以上の大きな差が出ました。

もっともおいしい水が飲める都道府県トップ3

〔単位：％〕

	全体		東京圏		大阪圏		中京圏	
1	長野県	30.9	長野県	29.0	長野県	27.0	長野県	38.7
2	北海道	12.9	北海道	14.5	北海道	14.3	岐阜県	13.7
3	静岡県	8.5	山梨県	10.2	静岡県	8.7	北海道、静岡県、愛知県	8.1

もっともおいしい水が飲める国トップ3

〔単位：％〕

	全体		20代		30代		40代		50代以上	
1	日本	45.7	日本	35.7	日本	45.1	日本	43.1	日本	57.2
2	スイス	30.7	スイス	34.8	スイス	29.5	スイス	36.2	スイス	23.2
3	フランス	6.5	フランス	9.6	フランス	10.7	カナダ	7.7	カナダ	5.8